

◆クラス展示では、緑日を企画しました。話し合いの中で、「来場者に楽しんでもらいたい」「思い出に残る展示にしたい」という意見が多く挙がり、テーマ性のある緑日にしようという方向にまとまりました。そこで、世界観が印象的で幅広い世代に親しまれている『不思議の国のアリス』をテーマとして採用しました。

◆準備では、誰でも楽しめるように内容や装飾を工夫しました。例えば、もぐらたたきの“もぐら”にカラフルな装飾を付けて視覚的にも楽しめるようにしたり、ミステリーボックスの箱をテーマに合わせたデザインにしたりすることで世界観を感じられるようにしました。また、子供から大人まで参加できるよう、知恵の輪コーナーを設置し、ミステリーボックスの中身も身近なものにして気軽に挑戦できるように工夫しました。

◆景品として飴を用意し、教室全体の雰囲気作りにも力を入れました。壁にはカラフルなバルーンを飾り、黒板には『不思議の国のアリス』のキャラクターを描いた黒板アートを製作してフотスポットとして活用し、写真撮影も楽しめる空間にしました。さらに、来場者のワクワク感を高めるために恋みくじを用意し、楽しみ方の幅を広げました。当日の混雑にも備えて、滞りなく参加できるような動線も考えました。

◆限られた予算の中で展示を充実させるため、装飾や道具は可能な範囲で家庭から持ち寄り、工夫して準備を進めました。コストを抑えながら満足度の高い展示を完成させることができたことは、大きな達成感に繋がりました。当日はたくさんの笑顔や楽しそうな声を聞くことができ、とてもうれしく感じました。

展示発表

久世中出身
實村光琉



舞台発表

勝山中出身
山本紋平



◆今年の文化祭の舞台では劇に取り組みました。人数が多いクラスでどのように役を割り振るかが最初の課題でした。希望が重なる役もありましたが、全員が舞台に立てるように登場人物を追加したり、シーンを広げたりして、シナリオと配役を整えていきました。話し合いを重ねる中で、1つの作品を全員で形にしていこうという意識が自然と高まっていきました。

◆劇全体の構成づくりでは、場面の流れや動きの繋がりを確認しながら、丁寧に見直しを重ねました。台本の変更に応じて動きやセリフを覚え直すことも多くありましたが、その度に劇がより良い方向へ整えられていくのを感じました。練習の合間には互いに声を掛け合い、クラスの雰囲気も次第に明るくまとまりのあるものになっていきました。

◆本番当日は、緊張と期待を抱きながら舞台に立ちました。途中で機材トラブルもありましたが、落ち着いて気持ちを切り替え、集中して演じることができました。最後までやり切った瞬間には大きな達成感があり、いただいた拍手は心に残るものとなりました。

岡山県立
勝山高等学校

岡山県真庭市勝山481
TEL 0867-44-2628



鼓山祭文化の部 準備期間の様子



3学期行事のご案内

1.21 (水)

夢現プロジェクト発表会

勝山高校の総合的な探究の時間『夢現プロジェクト』。生徒の「問い」から始まった探究活動の成果を勝山文化センターポンテホールにて発表します。

1.27 (火)

わんぱくキッズ

本校の生徒が地域の小学生を対象に、体を使って遊ぶことの楽しさや大切さを教えます。1月は遷喬小学校、2月は富原小学校のみなさんが対象です。

2.10 (火)

2.4 - 2.5

特別入試

3.10-3.11

一般入試

